

# News Letter

VOL.6

大阪市立大学

大阪教育大学

和歌山大学

積水ハウス株式会社

## 第3回 女性研究者研究発表交流会

2019年9月26日(木)

例年基調講演を行っていましたが、今回は新たな試みとして「[幸せ]×[エシカルなライフスタイル]」と題し、トークセッションを行いました。

まず、株式会社福市 代表取締役の高津玉枝氏より、フェアトレードのセレクトショップを立ち上げられるまでの経緯をお話いただきました。高津氏は、「より安く物を作り、より大量に物を消費すること=豊か」という価値観が一般的だった時代に、ご自身の「それはおかしい」というモヤモヤした気持ちに向き合われ、自らフェアトレード商品をビジネスとして成り立つよう育ててこられました。困難に突き当たった時の乗り越え方など、フェアトレードビジネスの開拓者ならではのお話を色々とお聞かせくださいました。

続いて、積水ハウス株式会社 住生活研究所長の河崎由美子氏より、ご自身のキャリアについてお話いただきました。河崎氏は、大学卒業後、積水ハウス株式会社に入社されて以来、企業内研究者として活躍されてきました。現在は、2018年8月に発足した住生活研究所の所長として、「幸せ」を実感できる住まいや暮らし提案に向けた「住めば住むほど幸せ住まい」研究に携わってられます。

起業家の高津氏と研究者の河崎氏。両者の根底には「人の幸せ」とは何かということにとことん向き合う姿勢がありました。分野は違えど、それぞれの領域で数多の困難を乗り越えながら「幸せ」を追求するお二人の話は示唆に富み、参加者は熱心に聞き入っていました。



### 研究発表

- ①「子育て視点から見た近居親子世帯のライフスタイル」  
大阪市立大学 生活科学研究科 特任助教 王飛雪氏  
積水ハウス株式会社 平岡千穂氏
- ②「遊びの要素から考える幼児の造形活動の実践」  
大阪教育大学 教育学部教員養成課程 美術教育講座  
特任准教授 青木宏子氏
- ③「次世代半導体材料:ダイヤモンド結晶における光キャリアのマイクロ波計測」  
和歌山大学 システム工学部 准教授 秋元郁子氏

## 2019年度 第1回「研究発表交流会」 文学の可能性 —震災・移動・記憶—

2019年7月24日(水)

第1部基調講演では、リンダ・M・フローレス准教授(オックスフォード大学東洋学部長)が、この文代のマンガ『日の鳥』を取り上げ、3.11の記憶を風化から守る方法のひとつとしての文学の可能性についてお話されました。

第2部では、阪神淡路大震災を体験し、語り継ぎ活動を行ってきた詩人の玉川侑香氏による「語り」と詩の朗読が披露されました。第3部では、奥野久美子准教授(大阪市立大学大学院 文学研究科 言語文化学専攻)、堀まどか准教授(大阪市立大学大学院 文学研究科 文化構想学専攻)、西岡英子特任准教授(大阪市立大学 女性研究者支援室 プログラムディレクター)より、それぞれの専門分野から報告がありました。

後のパネルディスカッションでは、先の報告者3名に、Robert Tierney教授(イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校、東アジア言語文化学部長)と、土山和久教授(大阪教育大学 教育学部、男女共同参画担当 学長補佐)を加え、会場の聴衆も巻き込んで活発な意見交換がなされました。



リンダ・M・フローレス氏



玉川 侑香氏



パネルディスカッションの様子

## Topics

大阪教育大学にて保育サポート制度、  
女性研究者外国語論文校閲・翻訳費用助成事業を開始しました!

### ■保育サポート制度

2019年10月より、研究者の研究活動と家庭生活の両立を支援し、児童の健全育成に寄与することを目的として、保育サポート制度を展開しています。これは、業務上やむを得ない理由により、夜間(延長)・早朝保育、休日保育、病児・病後児保育、学童保育を必要とする本学研究者に対して、その利用料金の一部を補助する制度です。

### ■女性研究者外国語論文校閲・翻訳費用助成事業

2019年11月より、国際的な女性リーダーの育成を目的として、研究力向上につながる外国語論文の校閲・翻訳費用を助成する制度を開始しました。国内外の学術雑誌、書籍等への外国語論文の投稿や、国際会議での外国語による発表等、女性研究者の活躍が期待されます。

## Event Schedule

2月 14 FRI 10:00~12:00

### 性の多様性を認める自由なキャンパスをめざして

講師: 田中 かず子 氏 (ファーマント代表、元国際基督教大学 教授)  
場所: 和歌山大学西2号館3階E-301

3月 16 MON **中止になりました**

### ダイバーシティ研究環境実現 中間総括シンポジウム 13:00~16:00

#### 「不可能への挑戦:UCLにおけるアテナスワン顕彰~A Success Story」

講師: Sara E Mole 氏 (ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン 総長付ジェンダー平等特使)

#### 「科学、工学、医学分野におけるジェンダー・エクイティの発展」

講師: Molly Carnes 氏 (ウィスコンシン大学マディソン校 WISELIディレクター、医学部 教授)  
場所: 大阪市立大学 杉本キャンパス 田中記念館ホール

\*上記の基調講演の他、活動報告や「女性研究者の研究力向上と上位職登用の現状と課題」をテーマにしたパネルディスカッションも予定。

#### 同時開催

### 第2回 産学官連携ウィメンズ イノベーションフェア 10:00~17:00

場所: 大阪市立大学 杉本キャンパス 田中記念館ホワイエ1階・2階  
◆多様な専門分野をバックグラウンドとする女性研究者のポスター展示 約20名  
◆大学や企業が取り組んでいる研究、ダイバーシティ実践のポスター展示 約20団体



#### 連携機関

代表機関 公立大学法人大阪 大阪市立大学  
共同実施機関 国立大学法人 大阪教育大学  
国立大学法人 和歌山大学  
積水ハウス株式会社

#### ニュースレターに関するお問い合わせ

大阪市立大学女性研究者支援室  
OCU Support Office for Female Researchers  
〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138  
Tel: 06-6605-3661  
E-mail: [ocu-support-f@ado.osaka-cu.ac.jp](mailto:ocu-support-f@ado.osaka-cu.ac.jp)  
HP: <http://www.wlb.osaka-cu.ac.jp/>

## 介護Q&amp;A

2018年度から開設しております介護相談窓口では、介護に関する困り事等について相談を受け付けております。そのご相談内容をQ&Aとしてお届け致します。

個別具体的に介護について  
ご相談したい方は  
介護相談窓口へお気軽に  
お問い合わせください

## Q1 介護保険って元気で申請できるのですか？

A: はい、申請できます。

介護保険は、65歳以上(40歳～65歳未満も条件によれば可)であれば申請することが可能です。元気と思っても、家事の負担が大きくなり、大変な思いをされている方もありますので、まずは申請をして下さい。

## Q2 要介護1と認定されました。どうしたら介護サービスを利用できますか？

A: 介護支援専門員(ケアマネジャー)によるケアプランが必要です。

介護保険サービスを利用するためには、「介護支援専門員(ケアマネジャー)」が作成する「ケアプラン」が必ず必要となります。無料で作成できます。地域の介護支援事業所を探し、ケアプランの作成を依頼して下さい。

## Q3 家族と一緒に住んでいても、訪問介護の家事援助は利用できますか？

A: はい、利用できます。

ご家族が同居していても、仕事等をしていて日中(昼間)は一人になる等の状況により、同居していても生活(家事)支援を受けることが可能です。

## Q4 施設へ入所を検討しています。どんな施設が良いでしょうか？

A: 「施設」と言っても色々あります。

特別養護老人ホームは要介護3以上の方が入居できます。それ以外の方が入居できる施設は有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅、グループホーム(要支援2以上)等です。当然、入居費用や月々の利用料も施設によって違います。また、同じ種類の施設でも運営する会社によって、様々な違いがあります。施設を選ぶ際は、必ず見学に行ってから決めて下さい。

## News

## 「性の多様性について考えてみましょう」リーフレットについて

積水ハウス株式会社

積水ハウスでは2019年11月1日より「異性事実婚・同性パートナー人事登録制度」(配偶者と同等の関係にある異性事実婚や同性パートナーにも異性婚の配偶者と同様に社内規則や福利厚生制度の適用を行う制度)の運用を開始しました。この機会に、正しい理解を深める為、LGBTリーフレット『性の多様性について考えてみましょう』を作成致しました。全従業員に配布し、企業倫理月間に読み合わせを行いました。正しい知識を全員が持つことで、更に誰もが働きやすい職場環境を目指します。



## SOGI啓発リーフレット「大学におけるSOGIの理解と対応」が完成しました

和歌山大学

和歌山大学では、「和歌山大学における人権に関する基本理念」及び「和歌山大学におけるSOGI(Sexual Orientation and Gender Identity)の多様性に関する基本方針」を2019年11月22日に策定したのを契機に、連携機関の大学が共通して利用できるSOGI啓発リーフレットを作成しました。このリーフレットが、学生が大学生活を送る上で、多様な価値観を身につけ、多角的な視点を育み、互いの人格を尊重し合う精神を培う一助となることを願っています。



## 01 大阪市立大学

## 外部資金獲得セミナー

2019年8月22日(木)・9月3日(火)

国内初の民間URA組織として、大学や企業に向けた助成事業に関わるコンサルティングサービスを行うロバスト・ジャパン株式会社より講師を招いて、2019年度科研費の概況と新様式についてご講演いただき、研究計画の検討のためのワークを行いました。セミナーの様子は、テレビ会議システムにより連携機関の大阪教育大学・和歌山大学にも配信され(8月22日は和歌山大学のみ)、2日間3会場で55名が参加しました。また、希望者には個別支援として、個別面談と申請書の添削も行われ、支援を受けた教員からは、「申請書の作成に当たり、とても参考になった」という声が聞かれました。



## 02 大阪教育大学

## キッズサマーキャンパス2019

2019年8月21日(水)・22日(木)

大阪教育大学柏原キャンパスにて、連携機関の教職員の子どもを対象とした短期託児プログラムを開催しました。幼稚園児から小学校5年生までの子どもたちが2日間で延べ約60名参加しました。

参加した子どもたちからは「お父さんお母さんの働いているところが見られて嬉しかった」「面白かった!また参加したい」という声が聞かれました。また、子どもを参加させた保護者からは、「子どもたちにとって職場を見学したり、様々なプログラムを体験したりしたことは貴重な機会だった」「サポートしてくれた学生とも仲良く過ごせたようで、将来、このような学生たちが先生になることを想像すると楽しみです」などの感想をいただきました。



## ダイバーシティ推進セミナー

—研究者にとっての「キャリアデザイン」「働き方改革」を考える—

2019年12月18日(水)

公益財団法人21世紀職業財団より、講師をお招きし、第一部「研究者にとっての「キャリアデザイン」」、第二部「ワーク・ライフ・マナジメントによる「働き方改革」の実践」からなる二部構成のセミナーを開催しました。延べ42名が参加し、「自分のキャリアを見つめる新たな視点が身についた」「働き方改革について、学内での実践を考える上で、他の人の意見や外部(企業)における現状を知る機会を得ることができた」等の感想が寄せられました。



## 03 和歌山大学

## 女性研究者英語力向上のための英会話セミナー

2019年9月24日(火)・25日(水)

女性研究者の英語力を向上させ、キャリア形成を支援するために、Gabaマンツーマン英会話による英会話セミナーを実施しました。2日間で4講座を開講し、延べ15名が受講しました。1日目は初級者向けに、プレゼンテーションの事前準備や効果的なスライドの作成方法を学ぶ「プレゼンテーション(基礎)」と、会議など場面に応じた会話術を学ぶ「ソーシャライズ」を実施しました。2日目は中級者向けに、プレゼンテーションで有用なフレーズや技術を学ぶ「プレゼンテーション(応用)」と、リスニング力とスピーキング力を強化する「ディベート」を実施しました。いずれも少人数制の講座で、受講者が相互に発表し、質疑応答を行うなど、実践的で密度の濃い学習を行うことが出来ました。



## 研究力向上のための英語スピーキングライティングセミナー

2019年11月27日(水)・28日(木)

女性研究者の英語力向上を目指し、ILC国際語学センター大阪校より各日1名ずつ講師を招いて、英語セミナーを全2日間実施しました。第1日の「スピーキング力向上セミナー」では、通訳メソッドを活用したトレーニングを、第2日の「英文ライティングセミナー」では、英語データベース(COCA)を活用したライティング力強化のトレーニングを行いました。2日間で延べ51名が参加してペア学習やグループ学習に熱心に取り組み、「具体的に実践しやすい内容だった」と好評でした。



## 保育サポーター養成研修講演会

第1回 2019年11月27日(水)

アナログゲームで育む子どものちから

保育、教育界で日本唯一のアナログゲーム専門家として幅広く活躍中の畑直樹氏をお招きし、ゲームのコミュニケーションツールとしての活用と子どもの能力養成についてご講演いただくとともに、実際にアナログゲームを使ったワークも行われました。26名が参加し、子どもの発達にとって多様なゲームがそれぞれに持つ意味やそれを引き出すための使用上の工夫点について理解を深めました。参加者からは、「細部にまで学べる配慮が行われていて驚いた」「ルールを独自で作れる自由さが工夫につながる事が分かった」等の感想が寄せられました。



第2回 2020年1月29日(水)

むかし遊びが「あたらしい」  
—子どもと仲良くなれる伝承遊び—

神戸市立六甲道児童館館長の金坂尚人氏をお招きしてご講演いただき、25名が参加しました。伝承遊びには、子ども達の成長に必要な要素がたくさん含まれています。講演会では実際に、ゴム飛び、めんこ、おはじき、コマ回し等の様々な伝承遊びを見て、聞いて、やってみるワークも行いました。金坂氏は「今そこにある物と環境で工夫して遊ぶのがむかし遊びのいいところ。それは、これからの子どもたちにとって、とても大切なことだ」と話されました。参加者からは、「このような経験を通して子どもが成長していくことがわかった」等の感想が寄せられました。

